

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	豊かな資源を生かした産業が根づくまちづくり	分野(章)番号	5
政策名(項)	消費者ニーズに対応した農林業の振興	政策(項)番号	I
施策名(目)	農業生産基盤の整備	施策(目)番号	①
担当課	農林課	担当課長	今村 勝則

1. 施策の基本方針

施策目的	・地域特性を生かした多彩な農産物の生産を行うため、農業振興制度の適正な運用を行い、必要な土地改良施設の維持・保全を図り、生産性の高い農業を確立する。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営を持続的に行うため農家の負担軽減が求められている。 ・地域の意向を反映した土地利用のあり方の明確化による農業振興策が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の価格低迷等により農家所得の伸び悩みにより新規基盤整備はないが、食料自給率向上のため、耕作放棄地を再生(基盤整備等による農地への復活)させる等の方策がとられている。

指標の内容		達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
施策指標 (成果指標)	主要	農業振興地域内の農用地区域の面積(ha)	目標		3,011ha	3,006ha	3,010ha		
		実績	3,014ha	3,012ha	3,007ha			3,010ha	
		達成率			100%				
	参考①	目標							
		実績							
		達成率							
	参考②	目標							
		実績							
		達成率							
	参考③	目標							
		実績							
		達成率							
参考④	目標								
	実績								
	達成率								

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		33,132千円	30,695千円	27,554千円	26,803千円	18,303千円	16,437千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	33,132千円	30,695千円	27,554千円	26,803千円	18,303千円	16,437千円
従事者数	正職員	0.17人/年	0.17人/年	0.24人/年	0.24人/年	0.50人/年	0.50人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	1,145千円	1,160千円	1,629千円	1,629千円	3,394千円	3,394千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		147千円	159千円	218千円	218千円	454千円	454千円
トータルコスト		34,424千円	32,014千円	29,401千円	28,650千円	22,151千円	20,285千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・除外等による農用地面積の減少はほぼ毎年一定程度であり、ある程度達成されている。	
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・農業生産基盤の整備を行うためには、農業振興地域の区域指定が必要であり、今後の事業においても同様であり、成果は向上する。	
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・上位施策に直結するようなものではないが、間接的に農地が農地であり続けられるように農業振興地域の指定を行ったり、効率的な農業生産を行われるよう基盤整備を行いその償還金について助成を行うことでニーズに対応した農業生産物の供給に貢献している。		

5. 施策の課題

課題	<p>・大区画のほ場にすることにより今以上に効率的な農業生産が可能となるが、農産物の価格低迷や国の農政の方向性が安定していない、また農家の高齢化や後継者も見つからないなど、将来の農業経営が不安なこともあり、自己負担金を出してまでの整備はなかなか進まない。</p>
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・財政事情も厳しいものがあるが、次年度以降も継続して実施する。
------	------------------------	---------	---------------------------------

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。